

## 第1学年松組 学級活動指導案

指導者 築地 歩  
H27. 11. 17 (2校時)

### 1 議題 2年生に「ありがとうの会」をしよう <(1)のア>

#### 2 議題について

##### (1) 児童の実態 (男子12名, 女子13名, 計25名)

本学級の児童は、明るく伸び伸びしており素直で男女の仲も良い。元気で自分の考えを何でも言えたり、控えめではあるが友達が困っていると優しく援助できたりする。一方で自分の思いをなかなか言葉に表せず、気持ちばかりが先走りつい手が出てしまったり、自分のことばかりを主張し、相手の気持ちを考えることができなかつたりする児童もいる。また、年度当初は男女ともに人の話を聞くことが苦手で、最後まで聞かずに自分の言いたいことを言う児童もいた。そこで、「どんな学級にしたいか」尋ねた時に、「あいさつのよい学級」「話をしっかり聞ける学級」という意見が多く出されたので、学級目標に組み入れて意識させてきた。

話し合い活動において、これまでは教師が司会をし、「みんなともっとなかよしになろう」「あいさつうんどうをがんばろう」の議題で自分たちができることを話し合い、実行してきた。また、夏休み後には「もっとたのしいまつくみにするために」という議題で、自分たちのよいところやもっと気をつけていきたいことを話し合った。これらのことから学級会は、みんなで作っていきいく楽しい時間であることや、学校生活を豊かにする思いを実現できる時間であることを実感してきている。話し合いの進め方等は、まだまだ教師の手助けを必要としている実態であるが、相手の話をしっかり聞いて、自分の考えを発表することで「自分もよくて、みんなもよい」ことを考えていけるようにしていきたい。

##### (2) 議題選定の理由

本議題は、生活科や学校行事等でお世話になっている2年生に感謝の気持ちを表し、交流を深めるための取組である。児童は、入学当初から「学校探検」で校舎を案内してもらったり、休み時間に一緒に遊んでもらったりしてきた。一緒に遊びや学習をする中で、自分の学級だけでなく異学年との関わりをもつことの楽しさを知り、1つ上のお兄さん、お姉さんに親しみを感じるようになってきている。さらに、10月には「なかよし会食交流会」を行い、遊びの計画を立て一緒に遊んだり、豚汁を食べたりする機会があった。その中でより親密感を増し、「2年生と食べておいしかった。」「また、遊びたい。」「2年生にお世話になった。」「いろんなことを教えてくれてありがとう。」「という声があがり、今度は2年生を招待して一緒に楽しみたいということになった。

しかし、遊びの中で自分中心な考えをして、相手を困らせたり、トラブルになったりすることもあることから、相手意識がまだまだ薄く、感謝の気持ちを上手に伝える方法が分からないように見受けられる。そこで、2年生に感謝の気持ちを伝えるための「ありがとうの会」を自分たちで考え、交流をさらに深めることによって、相手のことを思い、感謝する気持ちを高められるよう、本議題を選定した。

本議題を取り上げ、実践することにより、いろいろな意見を出し合い、自分たちで決めたことを自分たちで実践するよさや満足感を味わうことができるのではないかと考える。

### 3 第1学年及び第2学年の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の身の回りの問題に関心をもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲良く助け合って実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

#### 4 事前の活動【計画委員と学級全員の活動】

日時	児童の活動 計 全 提	計画委員 学級全員 提案者	指導上の留意点	目指す児童の姿 と評価方法
10月26日 (月) 朝の活動	計	・議題集めのための呼びかけをする。	・学級全体に呼びかける。	<b>【関心・意欲・態度】</b> ・議題に関心を持ち、進んで話し合いに参加しようとしている。 <議題カード・観察>  <b>【知識・理解】</b> ・話し合い活動の準備の仕方や基本的な進め方を理解している。 <活動計画>  <b>【思考・判断・実践】</b> ・「ありがとう」の気持ちをもって自分の考えをノートに書くことができる。 <学級活動ノート>
11月2日 (月) さくらタイム	計	・議題の選定をする。 ・他の議題の処理をする。 (みんなに紹介→返事カード)	・話し合うのに適した議題かを考えて選ぶよう声をかける。	
11月4日 (水) 朝の活動 昼休み	計 提 全	・議題の提案をし、全員で決定する。 ・提案理由を練り上げる。	・提案理由を全員で共有できるように、足りない部分については補足する。	
11月9日 (月) 朝の活動 昼休み	計	・学級会の活動計画をたてる。 (話し合いのめあて、柱の決定)	・話し合いのめあては、教師側のねらいを含めて慎重に決めさせる。 ・話し合いの柱は、事前に決めておくことと話し合っ て決めなければならない ことの区別をしてから、 めあてとの関連を考えて 選定するよう助言する。	
11月10日 (火) 帰りの会	計	・次回の学級会で話し合う内容と自分の考えをまとめておくことを伝える。	・自分の考えをもって話し合いに参加させるために学級会コーナーに事前に掲示して知らせておく。	
11月11日 (水) 帰りの会	全	・学級活動ノートに自分の考えを書く。	・提案理由や話し合いのめあてをもとに、自分の考えを理由と共に書くように助言する。	
11月13日 (金) 放課後	計	・話し合いの進め方を確認する。	・司会進行の言葉を確認しながら話し合いの全体の流れをつかませる。	

## 5 本時の展開

### (1) 本時のねらい

○2年生に「ありがとう」の気持ちを伝えるという視点で考えることができるようにする。

### (2) 児童の活動計画

当日配布

(3) 教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
1 はじめのことば 2 役割しようかい 3 議題の確認 4 提案理由と話合いのめあて確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自信をもってはっきりとした声で話すことができるように、計画委員を励ましておく。</li> <li>・提案理由や決まっていることを声に出して読んで、意識して参加できるようにする。</li> <li>・事前に2年生と遊んだ写真やカード等を掲示し、議題への意欲を高める。</li> </ul>	
1 決まっていることの確認 6 話合い ○どんなことをするか。 ①「ありがとう」のきもちをつたえるもの。 ②もっとなかよくなるあそび。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画委員用の活動計画表を準備し、司会の近くに座って進行を支援する。</li> <li>・話型を示すなどして、理由をつけて発表できるようにする。</li> <li>・出された意見は教師が短冊に書き、黒板記録が黒板に掲示するようにする。</li> <li>・賛成意見から出し合うように司会に助言する。</li> <li>・はっきりと言えた意見、思いやりのある意見等を称賛する。</li> <li>・語彙が少なかったり説明が上手くできなくて意見が伝わらなかつたりしたときは助言する。</li> <li>・聴く態度、話す態度がマナーに反するときは注意をする。</li> <li>・話合いが混乱したら、提案理由やめあてを確認するよう声をかける。</li> </ul>	<p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議題に関心をもち、最後まで友達の意見に耳を傾けて話し合おうとしている。</li> </ul> <p>＜観察・発言・学級活動ノート＞</p> <p><b>【思考・判断・実践】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生に感謝の気持ちを伝えるためにどんなことをしたらよいかを考えて発言している。</li> </ul> <p>＜観察・発言＞</p>
7 決まったことの発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなに伝わるように声の大きさや体の向きについて支援する。</li> </ul>	
8 ふり返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動ノートの項目に沿って自己評価させるようにする。</li> </ul>	
9 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画委員や頑張っていた児童を称賛し、次の活動への意欲を高める。</li> </ul>	
10 おわりのことば		

## 6 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
11月19日 (木) 学級会 昼休み	・学級会で決まったことや「ありがとうの会」での役割分担を学級会コーナーに掲示する。	・ノート記録を生かし、必要な部分を補足掲示する。	<b>【関心・意欲・態度】</b> ・友達と協力して、進んで係の準備に取り組んでいる。 <観察・準備物>
11月20日 (金)～ 11月24日 (火) 朝の活動 休み時間	・係の準備	・活動に必要なものを十分確保する。 ・意欲的に活動している児童や、友達に協力している児童を紹介し、意欲が継続するようにする。	
11月26日 (木) 5校時	・「ありがとうの会」 ・会の終了後、感想等を振り返りカードに記入	・それぞれの係の責任が果たせるように助言する。 ・進行は、できるだけ児童に任せる。	

**【思考・判断・実践】**  
 ・2年生に感謝の気持ちをもって仲良く助け合いながら活動している。  
 <観察・振り返りカード>

